令和6年度那覇市バリアフリー推進協議会（第1回） 議事要旨及び対応

場所：那覇文化芸術劇場なはーと スタジオ

日時：令和6年11月22日（金）10：00～12：00

No	発言者	指摘事項等	回答	対応
1	NPO 法人 沖縄県脊髄損傷者協会	開南せせらぎ通りは、重点整備地区で整備が遅れている路線であり、点検が必要である。	特定経路には選定していないが、独自に調査は実施。生活関連経路としての選定については、今後検討	現状では連絡する生活関連施設は少ないため、生活関連経路に選定しない
2	//	サウスウエストグラウンドホテルは、重点整備地区の基準100室を下回る88室であるが、県福祉のまちづくり条例に適合した施設であるため、対象に含めることはできないか。	基本構想策定時に設定した基準で選定しているが、基準の見直しの必要性について検討	基本構想策定時に設定した基準を踏襲する。今後、他都市の事例調査等も行いながら、見直しの必要性について検討していく
3	//	那覇市の福祉のまちづくり条例と関係性を整理する必要があるのではないか。	福祉部において心のバリアフリーなどのソフト事業について検討している。	福祉部で実施している心のバリアフリーの取り組みを教育啓発特定事業へ反映
4	全日本年金者組合 沖縄県那覇支部	高齢者の加齢性難聴についての取組を行っているが、重点整備地区の施設にヒアリンググループを設置できないか。	現状が把握できていないため、関係者へのヒアリングにより把握する。	現状で那覇市役所、パレット市民劇場、なはーとで導入済み。 その他施設への導入に関する特定事業への位置づけについては、引き続き事業者と調整を行う。
5	一般社団法人 沖縄県ハイヤー・タクシー協会	県庁裏のタクシー乗り場が、工事が終わり利用できるようになったので、地図に表示できないか。	不特定多数が利用できるという視点で整理しているため、現在は記載していないが、多くの利用があるとのことなので記載する方向で検討する。	地図に記載

No	発言者	指摘事項等	回答	対応
6	一般社団法人 沖縄県ハイヤー・タクシー協会	地下駐車場に待機して対応してはいるが、市役所前にタクシー乗り場がないのは問題ではないか。	検討課題として調整してほしい。(会長)	物理的に配置困難。地下駐車場を乗降場としても利用できるよう運用している
7	〃	改定案の公共交通特定事業には、バスターミナル(バス停)、タクシー乗り場への案内サインの整備がなくなっているが、残してほしい。	周辺施設の案内サインの設置に集約して記載している。表現をわかりやすくあらためる。	「周辺施設・バス停・タクシー乗り場への案内サインの設置」に見直し
8	株式会社 おきなわ edu	知的障がい者についても触れてほしい。障害を抱えた外国人の子どもも増えてきており、対策が必要である。	案内サインについては、重点整備地区の変化のところで、多言語表記の充実などの取組を検討と記載している。	教育啓発事業で位置付ける「那覇市理解促進研修・啓発事業」の中で、知的障がい者に対しても理解を深める取り組みを実施
9	〃	観光客がどこに逃げればよいのかが分かるように、防災の視点でも検討してほしい。	防災については、地域防災計画において、対策を位置付けている。バリアフリー基本構想への記載は、防災担当課と協議して検討する。	防災は重点整備地区内のみの方策とはならないため、基本的には、那覇市地域防災計画、那覇市観光危機管理計画で対応する。
10	一般社団法人 沖縄県バス協会	公共交通の特定事業にホームページ等におけるバリアフリーに関する事前情報の提供とあるが、ノンステップバスの案内は、発車の直前でないと車両が確定しないため、事前の案内は難しい。	ホームページはたどり着けなく、どこに書いているかわかりづらい。民間事業者のアクセシビリティは今後の課題である。県外の人でもわかりやすい情報提供が必要である。(NPO 法人 沖縄県脊髄損傷者協会)	アクセシビリティの観点で、特定事業の内容を見直す。
11	〃	バス停の表示は、限られたスペースで、かがまなくてよい高さとのバランスをとりながら、車いす使用者に配慮した調整が必要である。	バス停での表示は、他府県はカラーであるが、白黒で文字も小さい。(NPO 法人 沖縄県脊髄損傷者協会)	スペースが限られていることから、表示高さのバランスが難しい。どちらに合わせても苦情がきているのが現状。アクセシビリティの観点で特定事業の内容を見直す。

No	発言者	指摘事項等	回答	対応
12	社会福祉法人 沖縄県視覚障害者福祉協会	パレット周辺の点字ブロックの問題は、施設ができてから30年くらい問題提起しているが、あまりにも長期間が経過しており、対応してほしい。	事業が大規模であることから、長期での扱いにしている。引き続き施設管理者と意見交換を行う。(事務局) ヒアリングに知花委員が同席してもよいのではないかと(会長)	道路管理者との調整により、事業の前倒しの可能性を確認
13	//	バリアフリーに関する接遇マニュアルの内容を知りたい。合理的配慮が義務化されたが、買い物後のタクシー乗り場までの案内など不十分どころが見受けられる。	パレット久茂地からは、心のバリアフリーの啓発、社員研修等を引き続き行っていくとの回答を得ているが、マニュアルについては提供されていない。	必要に応じて接遇マニュアルの見直し等を実施
14	//	エスコートゾーンの未整備箇所は是非、整備を進めてほしい。	県警では今後、市道泉崎北線の整備を予定している。(沖縄県警察本部 交通部 交通規制課)	ヒアリング結果を特定事業に反映
15	公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会	重点整備地区の基本方針に追加された「③様々な障害に配慮したきめ細やかな施設等の利用環境の整備」はよいが、障害に限らず、ユニバーサルデザインなど対象を広げてみてはどうか。	障がいのカテゴリーには入っていない方で困っている方もいるので、検討してよいのではないかと(会長)	基本方針③を「ユニバーサルデザインに配慮したきめ細やかな施設等の利用環境の整備」に修正する
16	//	外国の方に、音や光でアラームを発することもあってはならないか。先進事例を収集できないか。	—	防災は重点整備地区内のみでの施策とはならないため、基本的には、那覇市地域防災計画、那覇市観光危機管理計画で対応する。

No	発言者	指摘事項等	回答	対応
17	会長	パーキングパーミット制度の周知について、路外駐車場の特定事業に盛り込めないか。	教育特定事業に適正利用の推進を記載している。 沖縄県ではちゅらパーキングの名称で、許可証を発行し、車内に掲示することで利用できるようにしている。期限付きで妊婦や、出産後、病気・怪我でも申請できる。また、ヘルプマークも那覇市に申請すれば受け取れる。（沖縄県 生活福祉部 障害福祉課）	特定事業としては位置付けないが、関係機関と協力しながら周知を図る
18	沖縄県発達障害者支援センター 地域療育課	発達障害には、感覚過敏の症状がある方もおり、音や光に過敏に反応する。那覇空港にカームダウンルームが設置されたが、このような施設が増えるとよい。	商業施設などにあるとよいと思われるので、事例を調べ検討してほしい（会長）	重点整備地区内では設置事例はない。各施設ともスペースに余裕がないため専用施設の配置は困難。空いてる会議室等を利用する等、運用面で対応する
19	社会福祉法人 沖縄県視覚障害者福祉協会	わったーバス等の無料実験で利用者が多くなり、通勤通学で困ったという話を聞いている。今後実施するのであれば通勤通学時間帯を避けてほしい。	実証実験ではご迷惑をかけた。次回は半額や一部負担での実施を検討している。（沖縄県 企画部 交通政策課）	—